

事業概要シート

施策 0602 高齢者の生きがいくつくりと介護予防の推進 <>の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	健康づくりのための地域活動支援事業	現状維持	予算額	9,157 千円	
				<< 10,371 >>千円	
事業期間	平成25年度 ~		財 源 内 訳	国庫支出金	2,281 千円
根拠法令 要綱等	介護保険法、地域支援事業実施要綱			県支出金	1,141 千円
				地方債	千円
				その他	2,496 千円
				一般財源	3,239 千円

【事業の目的・概要・対象】

◆事業の目的
 高齢者が介護予防・健康づくりに取り組むとともに、身近な地域における介護予防の拠点づくりを進める。

◆事業の概要

(1)地域における介護予防推進を目的とした介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービスの実施

①運動・栄養・口腔・認知機能向上等に関する介護予防の取り組みを行うため、

市主体による通所型サービス(C型)を実施する。

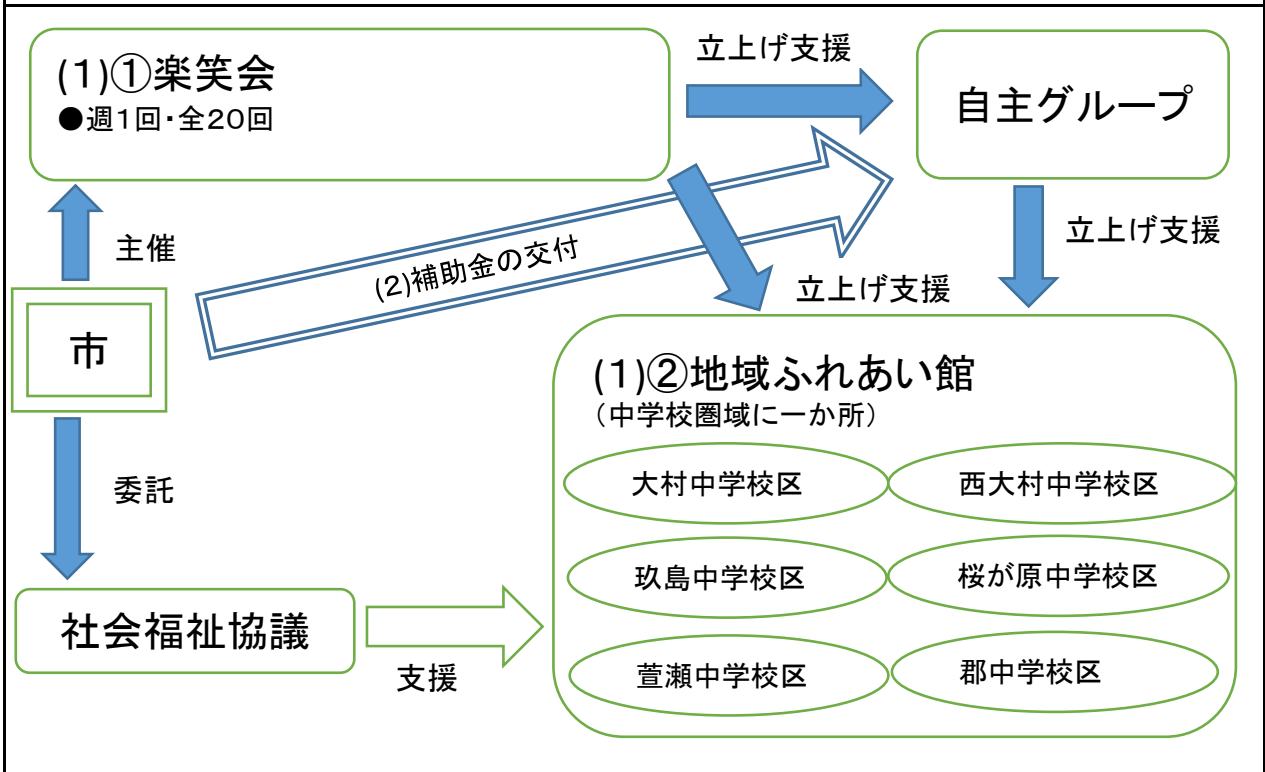
②地域住民が主体となった地域高齢者の通いの場(B型)を整備する。

(2)地域活動を支援するための補助金の交付

健康づくりや介護予防活動を実施する地域組織等に対し、活動に必要な経費の一部を補助する。

◆対象

介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援1・2の認定者、介護予防に取り組む高齢者



【背景】

加齢に伴う筋力や関節可動域の低下は高齢者にとって転倒のリスクが高まるだけでなく、日常生活や社会参加の意欲低下にも影響を与える。身近な地域において介護予防教室や自主グループ、地域ふれあい館を開催し、環境を整えることにより、高齢者が自ら介護予防や健康づくりへ取り組むことができ、健康寿命の延伸につながる。

担当課	福祉保健部長寿介護課	課長	前川 靖彦
担当者	川口 南	問合せ先	0957-53 - 8141 (内線201)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	活動支援補助金の交付団体数	団体	9	18	32	12	12
②	通所サービスC型(楽笑会)開催回数	回	13	50	60	45	45

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	通所サービスC型(楽笑会)参加実人数	人	69	138	96	165	165
②	地域ふれあい館運営協議会	箇所	4	6	6	6	6

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	8,485	8,284	10,371	9,157	9,157	9,157	54,611
国庫支出金	2,145	2,060	2,587	2,281	2,281	2,281	13,635
県支出金	1,072	1,032	1,293	1,141	1,141	1,141	6,820
地方債							0
その他	2,379	2,335	2,816	2,496	2,496	2,496	15,018
一般財源	2,889	2,857	3,675	3,239	3,239	3,239	19,138
人件費	5,053	2,627	5,841	5,841	5,841	5,841	31,045
職員(人)	0.66人	0.32人	0.74人	0.74人	0.74人	0.74人	3.94人
時間外勤務(h)	34h	150h	230h	230h	230h	230h	1104h
嘱託員(人)	0.10人						0.10人
フルコスト	13,538	10,911	16,212	14,998	14,998	14,998	85,656

妥当性 (市の関与)	保険者として、介護予防・日常生活支援総合事業を整備し、高齢者が介護予防に取り組む環境づくりを行う義務がある。
有効性 (施策貢献度)	高齢者が住み慣れた地域で元気に過ごすために、地域組織の育成・支援は有効である。
効率性 (コスト)	地域で介護予防や健康づくりに取り組める環境を整備し、介護予防に重点を置くことにより、将来的に介護給付費の伸びを抑えることができる。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり

評価調整 委員会評価	
---------------	--